

日本の終焉前夜

福島原発の事故「レベル七」は人類最悪のレベルです。チェリノブイリで起きたことと同じです。

それに比べ盛んに事故の規模が小さいと言われますが、核物質を垂れ流す制御不能の状態には今も何も変わり有りません。水と空気を汚し垂れ流し続け、より深刻です。

チェリノブイリ事故もスリーマイルも原子炉は一基だけで

した。

福島第二原発の場合は一号基から四号基までが同時進行し危機的な状況です。どれか原子炉格納容器内で水素爆発を起こしたら、しかも3号炉はプルサーマル、水爆のブルトニウム・MOX使用炉です。

被害は想像のレベルを遙かに超えると思います。

自民党政権と東電は、自らのカネのためメルトダウンを招き込んだのです。

私たちは日本を逃げ出せません。最悪の壊滅をも受け入れなければ成らないのです。自民党とリッパ菅政権の人間、人体実験に道連れです。

電源喪失による危険性について、国会で質問と討議がされています。

これまでの回答は、自民党の歴代総理は、質問に官僚が書く、起こらないことが前提の答弁書を読むだけでした。自民党政権は端から国民を

守る意識など全く無かったのです。

自らの意志で国民を守る気概も意図のない自民党政権の総理が事故を引き起こし、日

カネのため死に越ぐ

本はホロコーストと化するのでしょうか。

永年の企業献金の効果は実に絶大なものがあります。

マスコミも同様、企業スポンサーに絶対逆らえません。自主規制です。



は大本営本部の役目を忠実に果たしています。

NHKでさえ受信料で成り立つにもかかわらず、ニュースで事実を伝えても、真実に全く迫っていません。見事なまでに既得権益を守る推進御用学者のオンパレード、代弁し語らせているのです。民放は論外、NHK幹部は

無知の記者、カネに跪（ひざまず）く御用記者です。マスコミで署名のない記事は殆どが御用記事か又は、

1982年香川県に原発の世界最大で最高水準の老朽原発の安全を検証する耐震テスト装置が建設されていましたが、2005年にコンピュータ解析で可能として、「小泉平蔵」内閣は建設費の百分の一以下の値段（利権？）で売却、施設を廃止しています。検証設備のコスト削減は、平成劇場の事業仕分けにみた如く、人類の科学技術の進歩と発展に明らかに逆行したものでした。

います。日本が自民党と一企業によって奈落の底に引きずられ、生き延びれないとしたら、

この切迫した状態は地獄図、悪夢であってほしい。

原子炉時限爆弾

書かされたのしよう。

今この日本を破壊に迫りやる危機は、一か八かで商業運転をしていた結果であることを明確に指摘して

この日本に少数の知性が存在していたこと自体、わずかな希望が見える。もう起こってしまったのです。後悔は遅かったのか。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
2011年4月15日(金) NO 187
地域から明るい未来を作ろう